

腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられる

(当日4日間入院)

説明医師

P1/2

説明看護師(外来)

様へ

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	当日術前 (入院日)	当日術後	術後1日目	術後2日目
目標	心身ともに安定した状態 で手術を受けられる 治療に対する不安を 表出できる	術後合併症を起こさない 感染がない		
検査	身長、体重測定		採血 レントゲン撮影	
食事	絶飲食		昼より全粥食開始予定 夕より常食	退院日は朝食のみ
処置・観察	リストバンドを装着 します(退院日まで) 臍処置します 時間になれば、 看護師が手術室に ご案内します	手術後以下の挿入物、 装着物があります ・酸素 → 手術6時間 ・心電図モニター → ・点滴の管 → ・尿道カテーテル →	後に取り外します → 取り外します → 取り外します → 取り外し、排尿を確認 します 創部を観察、処置を 行います	退院時にリストバンド を外します
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡し ください 持続点滴します	・抗菌薬 ・鎮痛剤	鎮痛剤を 服用します	
行動・リハビリ	以下の手術準備を します ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、 時計等の取り外し	翌朝までベッド 安静です	午前中 全身清拭し、 手術着から パジャマに着替え ます 歩行を開始 します 尿道カテーテル 抜去後はトイレで 排尿できます	創部の治癒状況に 合わせて シャワー浴を再開 します
説明	医師・麻酔科医より 説明 (外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室 看護師より説明 ・入院生活について (パスシートを使用) ・手術について 薬剤師より 説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より説明 ・手術結果について 看護師より 説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について		医師より説明 ・退院後の治療計画、 療養上の留意点について 看護師より 説明 ・退院後の療養生活に ついて (退院療養計画をお 渡しします)

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

08-K80-3 2023.3.24版 京都第一赤十字病院

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

手術後の傷の痛みを教えてください

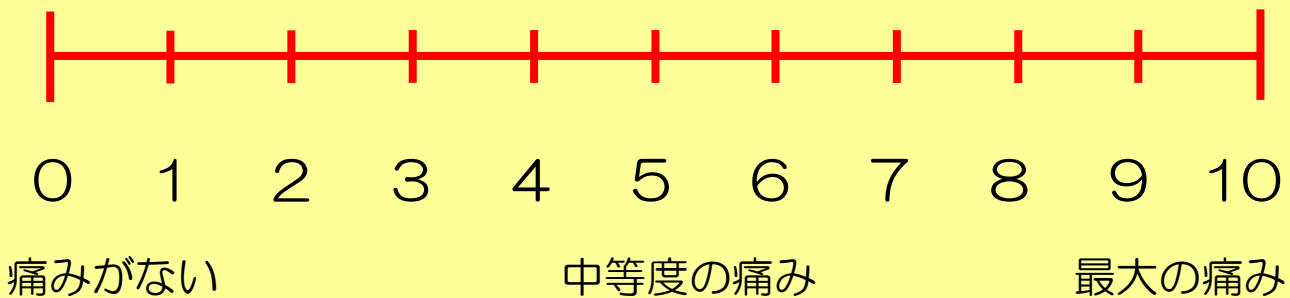
講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。



手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

